

## 歯科保健部会報告

平成 30 年度成人歯科口腔健康診査及び歯科意識調査の結果

## 平成 30 年度 成人歯科口腔健康診査及び歯科意識調査の結果

熊本市第 3 次歯科保健基本計画の成人期における中間評価を実施するため歯科口腔健康診査と歯科保健意識調査を実施した。対象と実施期間、結果は下記のとおり。

【対象】熊本市歯科医師会に委託した成人歯科口腔健康診査の受診を希望した 40～64 歳の市民 427 名  
(男 185 人、女 242 人)(40 代:38.9%、50 代:39.3%、60 代:21.8%)

【実施期間】平成 30 年 9 月 1 日～ 10 月 31 日

### 1. 歯科口腔健康診査の結果

#### 1. 歯の状況

	処置完了者	治療の必要がある者
40 代	41.6%	58.4%
50 代	44.0%	56.0%
60 代	55.9%	44.1%
全体	45.7%	54.3%

#### 【治療の必要がある者の内訳】

	処置完了者	欠損未処置歯のみ	むし歯のみ	むし歯+欠損未処置歯
40 代	41.6%	5.4%	47.0%	6.0%
50 代	44.0%	4.8%	41.1%	10.1%
60 代	55.9%	7.5%	24.8%	11.8%
全体	45.7%	5.6%	39.8%	8.9%

全体としては 45.7%の者が治療を完了しており、半数以上の者が治療が必要な状況であった。

むし歯だけの治療が必要な者は全体の約 4 割、抜歯後に歯を入れずそのままにしている欠損未処置歯とむし歯と両方ある者は全体の約 1 割であった。

年代別でみると、年代が上がるごとに処置完了者が増加しており、40 代と 50 代では、むし歯を放置している者が多い状況であった。

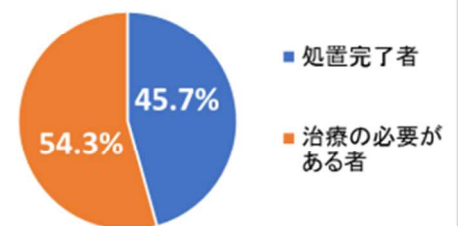
#### 【前回調査との比較】\* 処置完了者以外は重複者あり

	処置完了者	未処置歯がある者	欠損未処置歯がある者
H22	47.6%	35.5%	29.2%
H30	45.7%	48.7%	14.5%

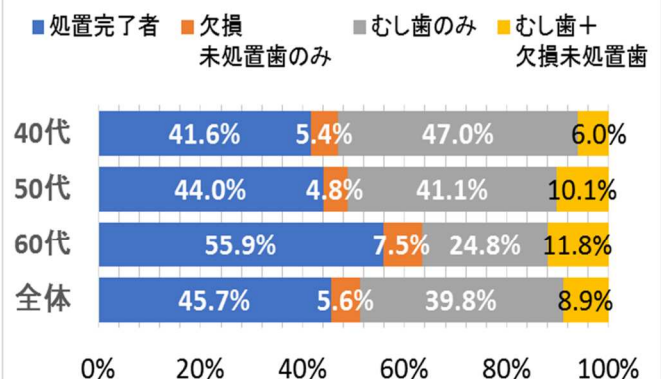
抜歯した後に処置をしていない欠損未処置歯がある者は、平成 22 年度に比べると 14.7%減少していたが、むし歯などの未処置歯がある者は 13.2%増加していた。

処置完了者も 1.9%減少しており、むし歯などを放置して治療していない者が増加していた。

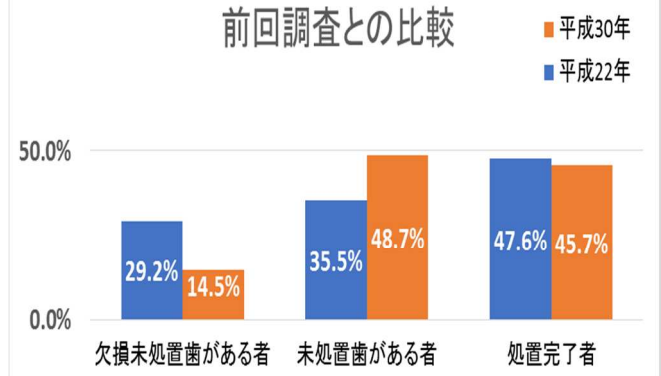
歯の治療状況



歯の状況



前回調査との比較

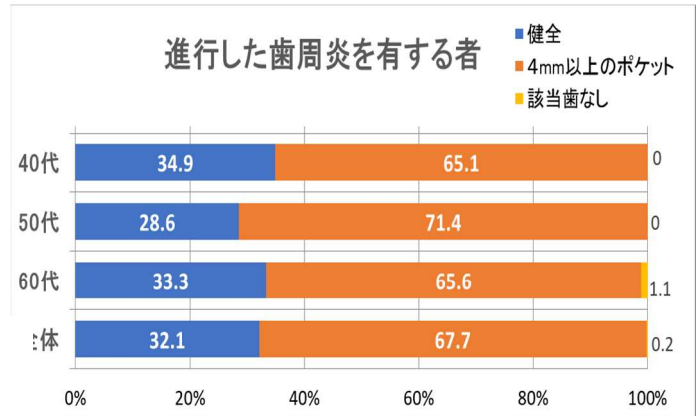


## 2. 歯肉の状況

### 【進行した歯周炎を有する者】

	健全	4mm以上	該当歯なし
40代	34.9%	65.1%	0.0%
50代	28.6%	71.4%	0.0%
60代	33.3%	65.6%	1.1%
全体	32.1%	67.7%	0.2%

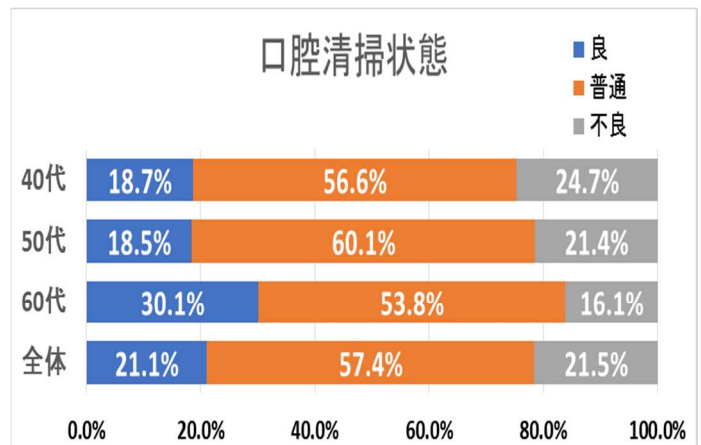
4mm以上の歯周ポケットをもつ進行した歯周病を有する者は67.7%と多い状況であり、年代別では50代が一番多い結果であった。



## 3. 口腔清掃の状況

	良	普通	不良
40代	18.7%	56.6%	24.7%
50代	18.5%	60.1%	21.4%
60代	30.1%	53.8%	16.1%
全体	21.1%	57.4%	21.5%

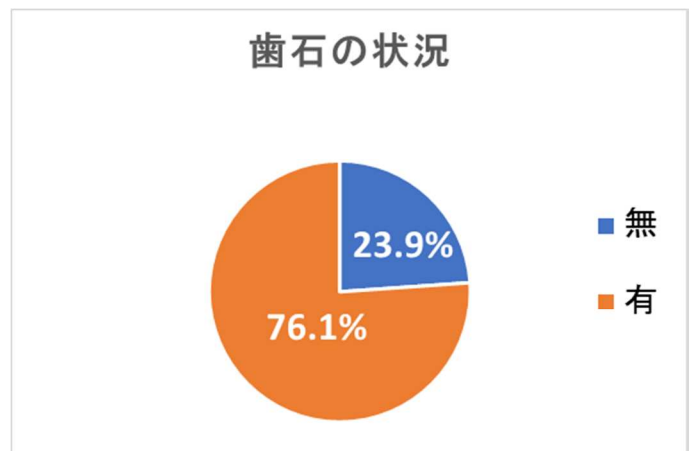
全体としては、良く磨けている者が約2割、磨けていない者も約2割いた。年代別では、40代に磨けていない者が一番多かった。



## 4. 歯石の状況

	無	有
40代	20.5%	79.5%
50代	20.8%	79.2%
60代	35.5%	64.5%
全体	23.9%	76.1%

歯石がある者は、全体の約8割であった。年代別でみると、40代50代では約8割に歯石があり、60代は約6割であった。

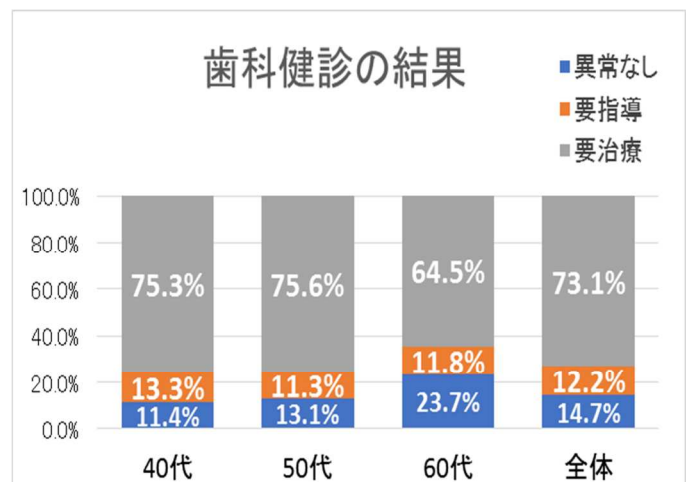


## 5. 歯科健診の判定結果

	異常なし	要指導	要治療
40代	11.4%	13.3%	75.3%
50代	13.1%	11.3%	75.6%
60代	23.7%	11.8%	64.5%
全体	14.7%	12.2%	73.1%

全体としては、異常なしの者が約15%、要指導の者が約12%、要治療の者が約73%であった。

異常なしは60代が多く、治療が必要であったのは40代50代がともに約8割と多かった。



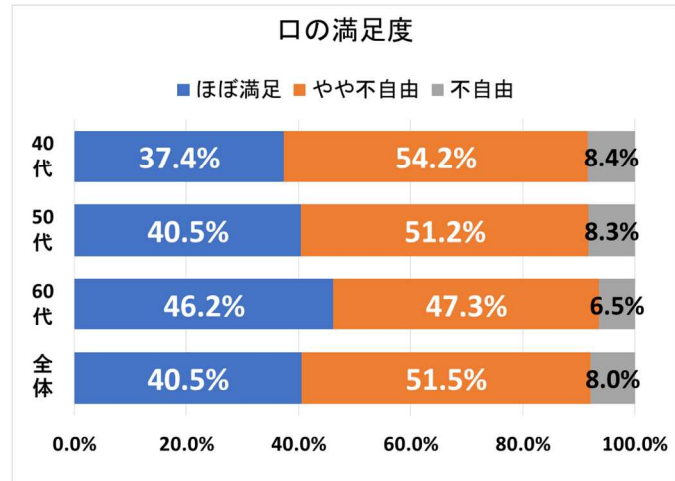
## 2. 歯科意識調査の結果

### 1. 口の満足度

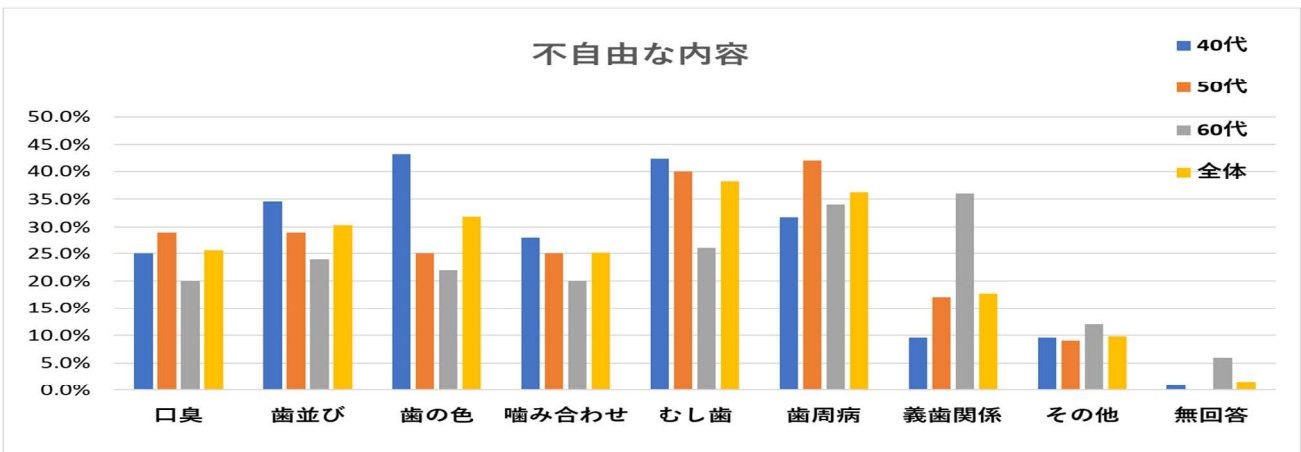
	ほぼ満足	やや不自由	不自由
40代	37.4%	54.2%	8.4%
50代	40.5%	51.2%	8.3%
60代	46.2%	47.3%	6.5%
全体	40.5%	51.5%	8.0%

ほぼ満足していると回答した者は、全体の約4割で、約6割の者は口の中に不自由を感じている状況であった。

年代別にみると、60代が満足度は高く、40代が一番不自由を感じていた。



	口臭	歯並び	歯の色	噛み合わせ	むし歯	歯周病	義歯関係	その他	無回答
40代	25.0%	34.6%	43.3%	27.9%	42.3%	31.7%	9.6%	9.6%	1.0%
50代	29.0%	29.0%	25.0%	25.0%	40.0%	42.0%	17.0%	9.0%	0.0%
60代	20.0%	24.0%	22.0%	20.0%	26.0%	34.0%	36.0%	12.0%	6.0%
全体	25.6%	30.3%	31.9%	25.2%	38.2%	36.2%	17.7%	9.8%	1.6%



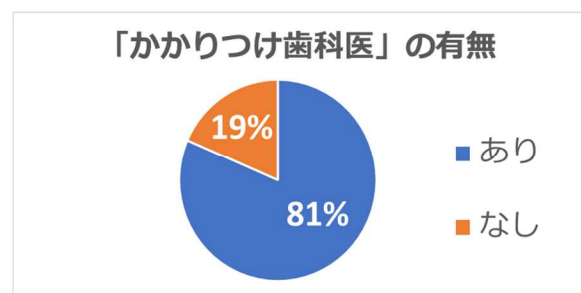
不自由と感じている内容で多い順番は、むし歯、歯周病、歯の色、歯並び、口臭、噛み合わせ、義歯関係であった。

年代別に多い内容は以下のとおりで、年代によって不自由と感じている内容が違っていった。

- 【40代】1. 歯の色      2. むし歯      3. 歯並び
- 【50代】1. 歯周病    2. むし歯      3. 歯並びと口臭
- 【60代】1. 義歯        2. 歯周病      3. むし歯

### 3. かかりつけ歯科医の有無

	あり	なし
40代	74.1%	25.9%
50代	86.9%	13.1%
60代	84.9%	15.1%
全体	81%	19%



かかりつけ歯科医がある者は全体の約8割であった。

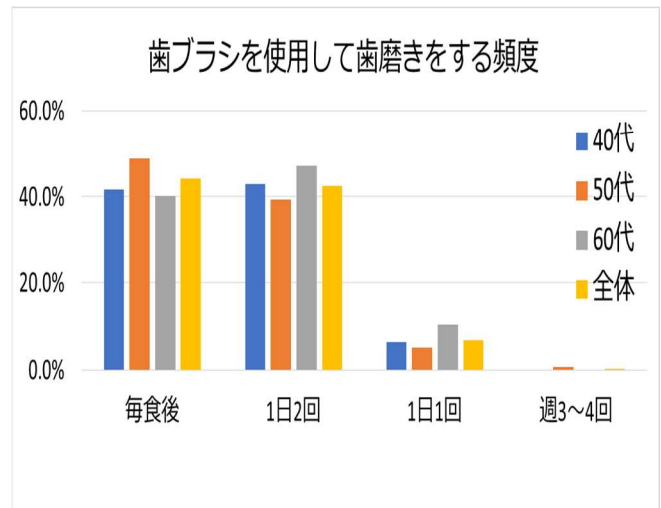
40代では4人に1人が、かかりつけ歯科医を持っていない状況であった。

#### 4. 歯みがきの実施状況

	毎食後	1日2回	1日1回	週3~4回	無回答
40代	41.7%	42.9%	6.4%	0.0%	9.0%
50代	48.8%	39.4%	5.0%	0.6%	6.2%
60代	40.2%	47.1%	10.4%	0.0%	2.3%
全体	44.2%	42.4%	6.7%	0.2%	6.5%

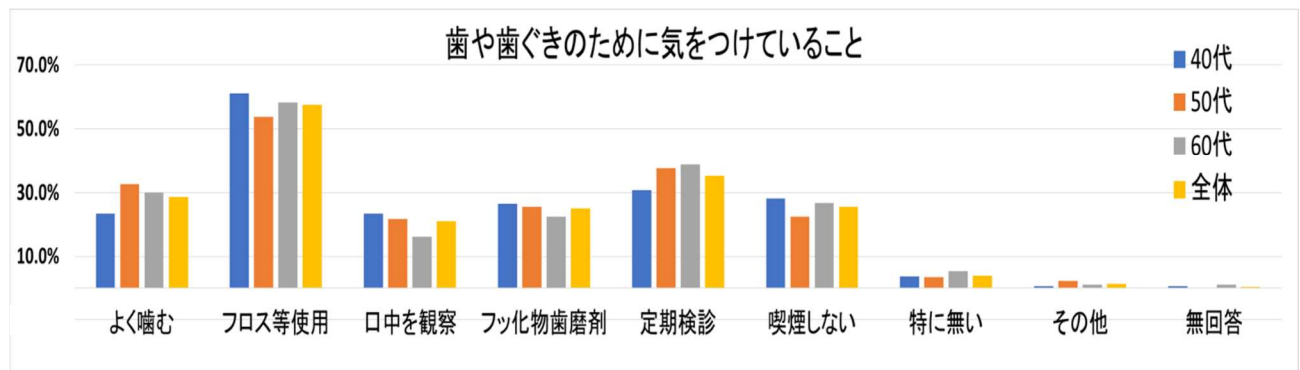
1日2回以上歯磨きする者は約9割おり、1日1回歯を磨いている者は約7%であった。

1日1回以上は殆どの者が歯みがきをしている状況だったが、歯科健診の結果では約2割の者は口腔清掃状況が不良であった。毎日歯みがきをしていても磨けていない状況がうかがえた。



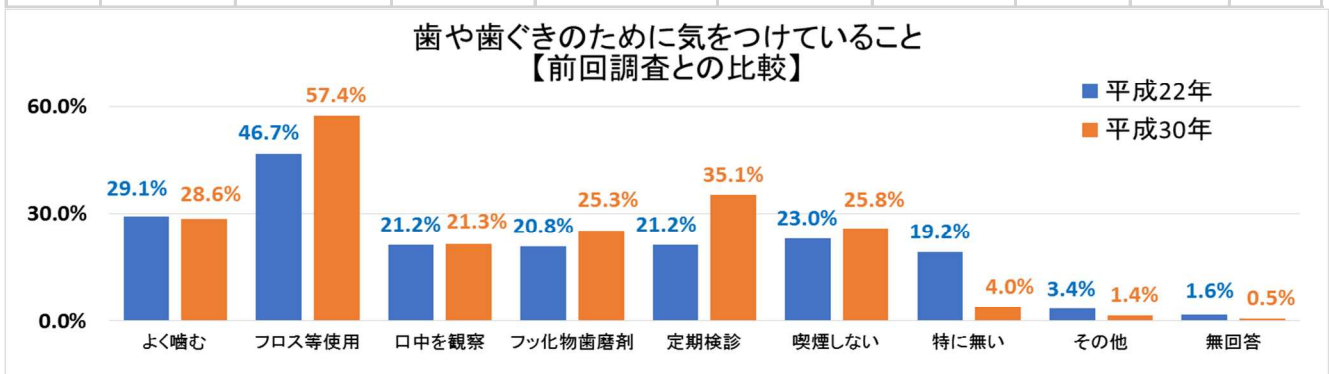
#### 5. 歯や歯ぐきのために気をつけていること

	よく噛む	フロス等使用	口中を観察	フッ化物歯磨剤	定期検診する	喫煙しない	特に無い	その他	無回答
40代	23.5%	60.8%	23.5%	26.5%	30.7%	28.3%	3.6%	0.6%	0.6%
50代	32.7%	53.6%	22.0%	25.6%	37.5%	22.6%	3.6%	2.4%	0.0%
60代	30.1%	58.1%	16.1%	22.6%	38.7%	26.9%	5.4%	1.1%	1.1%
全体	28.6%	57.4%	21.3%	25.3%	35.1%	25.8%	4.0%	1.4%	0.5%



#### 前回調査との比較

	よく噛む	フロス等使用	口中を観察	フッ化物歯磨剤	定期検診する	喫煙しない	特に無い	その他	無回答
H22	29.1%	46.7%	21.2%	20.8%	21.2%	23.0%	19.2%	3.4%	1.6%
H30	28.6%	57.4%	21.3%	25.3%	35.1%	25.8%	4.0%	1.4%	0.5%



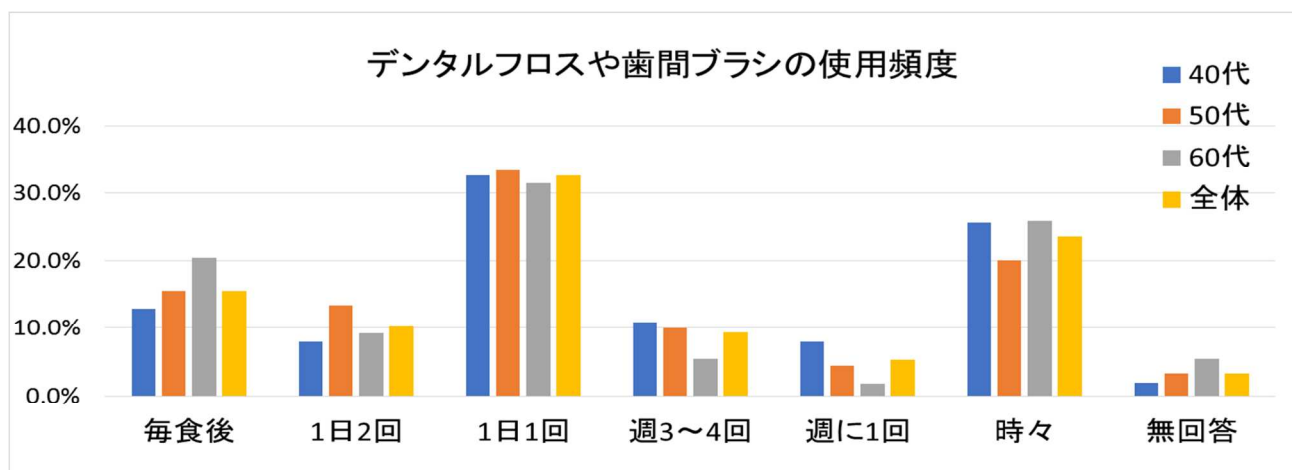
全体的にはデンタルフロスなどの歯間清掃道具を使用する者が一番多く、次に多かったのは「定期検診」、3番目は「よく噛んで食べる」の順であった。

前回調査と比較すると、「よく噛む」者は減少したが、その項目以外の「歯間清掃道具を使用する者」をはじめ、「定期検診をする」、「フッ化物歯磨剤を使う」、「喫煙しない」などは全て増加しており、特に定期検診を実施する者が一番増加していた。

年代別では気をつけている内容に差はなかった。

## 6. デンタルフロスや歯間ブラシの使用頻度

	毎食後	1日2回	1日1回	週に3~4回	週に1回	時々	無回答
40代	12.9%	7.9%	32.7%	10.9%	7.9%	25.7%	2.0%
50代	15.6%	13.3%	33.3%	10.0%	4.5%	20.0%	3.3%
60代	20.4%	9.3%	31.5%	5.5%	1.9%	25.9%	5.5%
全体	15.5%	10.2%	32.6%	9.4%	5.3%	23.7%	3.3%



全体で見ると、1日1回使用している者が32.6%、毎食後は15.5%、1日2回使用している者は10.2%であり、1日1回以上使用している者は58.3%であった。

1日1回以上使用している者を年代別でみると、40代で53.5%、50代で62.2%、60代で61.2%であり、40代の者が一番少ない状況であった。

平成22年に調査した結果と今回調査の調査を比較すると、1日1回以上使用している者は、全体で47.3%であったため、11.1ポイント増加していたものの、歯周病予防には、毎日の口腔ケアが大切であるため、早い世代から1日1回以上は歯間清掃道具を使用する者が増えていくよう、更なる啓発に取り組んでいきたい。